

平成21年8月14日

各位

上場会社名 東燃ゼネラル石油株式会社
 代表者 代表取締役社長 鈴木 一夫
 (コード番号 5012)
 問合せ先責任者 エクソンモービル有限会社 広報渉外副部長 甲斐 航介
 (TEL 03-6713-4400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,300,000	15,000	16,000	9,000	15.93
今回発表予想(B)	2,100,000	△9,000	△8,000	△5,000	△8.85
増減額(B-A)	△200,000	△24,000	△24,000	△14,000	
増減率(%)	△8.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	3,272,429	121,742	131,290	79,285	140.34

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200,000	10,000	10,000	5,000	8.85
今回発表予想(B)	2,000,000	△14,000	△14,000	△9,000	△15.94
増減額(B-A)	△200,000	△24,000	△24,000	△14,000	
増減率(%)	△9.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	3,260,775	102,837	117,298	72,600	128.51

修正の理由

平成21年12月期の連結営業利益は、本年2月13日に発表した予想より240億円減少し、90億円の損失となる見込みです。

期中における原油価格の上昇により、当初の業績予想を下方修正することになります。これは主として、当社が原油コストの変動を業界他社よりも早く認識する会計処理方法を採用していることによるものです。なお、この影響の一部は、当初見込んでいなかった通期の在庫関連利益により相殺され、結果として、合計で240億円の減益要因になると推定しています。

上記要因を除けば、今回発表の通期営業利益予想における前提は、前回から変更ありません。

1株あたり年間38円の配当見通しについては変更はありません。

以上